

令和8年度 学校評価集計結果（7月：1回目）

アンケート集計結果

4:よく当てはまる、3:やや当てはまる、2:あまり当てはまらない、1:全く当てはまらない、0:分からない

項目	内 容	評価結果（4点が満点）		
		児童	保護者	学校
1 教育 活動	1 子どもは、学校で楽しくすごしている。	3.5	3.6	3.7
	21 子どもは、自分の力を伸ばそうと努力している。	3.4	3.3	3.0
	22 子どもは、周りの人の気持ちを考えて行動しようとしている。	3.5	3.3	2.9
	3 子どもは、友達を傷つける言葉を言ったり、意地悪なことをしないで、やさしくしている。	3.5	3.4	2.8
	4 子どもは、困っている人がいたら、声をかけたり助けたりすることができる。	3.3	3.3	3.3
	5 子どもは、相手や場面に応じてきちんとした言葉遣いができている。	3.4	3.0	2.6
	6 授業は、分かりやすい。	3.6	3.0	3.3
	7 子どもは、問題が難しくても、最後まであきらめずに考えようとしている。	3.4	3.0	3.3
	81 子どもは、読書が好きだ。	3.3	2.7	3.1
	82 子どもには、お気に入りの本がある。	3.6	2.9	3.3
	9 子どもは、自分から進んで家庭学習をしている。	3.1	2.7	2.6
	10 子どもは、外遊びなど、進んで体力づくりに努めている。	3.4	3.2	3.3
	11 子どもは、いつも黙って掃除をがんばっている。	3.2	2.5	2.4
	12 教職員は、子どもたちが、実際に体験して学ぶ機会を大切にしている。	3.4	3.6	3.9
2 教育 環境	13 教職員は、子どもたちに寄り添い、相談にのるなど、子どものことを理解しようと努めている。	3.6	3.6	3.8
	14 教職員は、子どもたちのよさや頑張りを認め、伸ばそうとしている。	3.7	3.6	3.7
3 開 か れ た 学 校	15 学校は、清潔で、安全面に配慮した環境づくりに努めている。		3.2	3.3
	16 学校は、教室や校庭、花壇、掲示板などの教育環境を整えている。		3.4	3.5
	17 学校は、地域のよさを生かした教育活動に取り組んでいる。		3.4	3.8
	18 学校は、保護者や地域住民が、学校行事や授業を参観する機会を多く設けている。		3.6	3.8
	19 学校は、保護者や地域と手を携えて、子どもたちを育てている。		3.5	3.6
4 五 つ の し お り	20 学校は、ホームページや学校・学級便り等を通じて、学校の様子をよく知らせている。		3.5	3.5
	21 学校は、子どもたちの安全確保のために、指導・配慮をしている。		3.4	3.8
	22 子どもは、あいさつを大きな声でしている。	3.2	3.0	2.8
	23 子どもは、返事をはっきりしている。	3.3	3.0	2.8
	24 子どもは、はきものをきちんとそろえている。	3.4	2.7	3.4
	25 子どもは、身のまわりをいつもきれいにしている。	3.1	2.5	2.6
	26 子どもは、時間をきちんと守っている。	3.3	2.9	2.9
	27 教職員は、日頃から、あいさつをしている。	3.0	3.7	3.8
	28 北小学校は、「働きがいのある学校」である。			3.5
	29 北小学校の職員は、「磨き合う職員集団」である。			3.6

平均 3.4 3.2 3.3
昨年度との比較 同等 同等 同等

3.5ポイント以上（現在良好な項目）
3.0ポイント未満（改善したい項目）

令和8年度 学校評価（1回目）

【全体結果】

- 児童の評価結果が高い。すべて「3」（やや当てはまる）以上である。
「3.5」以上の評価項目が8項目である。
 - ・学校は楽しい
 - ・周りの人の気持ちを考えて行動している
 - ・相手を傷つけることを言ったりしたりしない
 - ・授業は分かりやすい
 - ・お気に入りの本がある。
 - ・体験して学ぶ機会がある。
 - ・先生は、寄り添ってくれる
 - ・先生は、頑張りを認めてくれる
- 保護者の評価と学校の評価では、おおむね同じような傾向が見られる。
- 児童自身の評価では、「5つのしおり」の項目の評価は他と比べて低い。
- 「5つのしおり」については、保護者、学校でも児童と同じく、低い評価となっているものが多い。
- 「教職員はあいさつをしている」に関して、保護者、学校の評価は高いが、児童の評価は「3.0」で高いとは言えない。児童の挨拶については、逆の傾向である。

【考察】

- 本年度、「楽しさあふれる学校づくり」をテーマに掲げている中、「学校で楽しく過ごしている」について肯定的な結果が高いことは一定の成果である。全員が肯定的な評価になることを目指していきたい。
- 「人を大切にする」という視点では、困っている友達への関わりについては、おおむね良好と言える。
- ここ数年、読書活動に力を入れているものの、これまで評価が良くなかったので、今回、評価項目の文言を「読書が好きだ」「お気に入りの本がある」という具体的な2つの文言に変更した。その結果、子どもの評価では「3.3」「3.6」と良好であるということが分かった。
- 教職員が、子どもに寄り添ったり、よさを認めたりすることについて、どの立場から高い評価となっていることは、学校の取組が十分に伝わっていることだと捉えられる。今後も、一人一人を大切にしたい関わりを継続していきたい。
- 環境や開かれた学校に係る取組についてはおおむね良好であるが、地域・保護者の皆様の理解の下、教育活動を推進できるように引き続き、取り組んでいきたい。
- 清掃活動については、保護者、学校の両方で最も低く、児童の評価の中でも高いとは言えない。指導の充実を図る必要がある。
- 挨拶を交わすことについて、評価者で認識がずれており、改めて確認が必要である。
- 「5つのしおり」は、日々の生活習慣に係るものであり、今後も、情報を共有しながら、指導を継続していく必要がある。
- 「5つのしおり」の中の「はきものをきちんとそろえること」は、学校と児童では、高めの評価である。あらゆる場面で実践できるようにしたい。
- 今回の学校評価の文言に、「子どもは」という主語を多く設けたところ、大人が子どもを観る視点を共有できた。これ大きな収穫である。

■ 数値での評価以外に記述においてご意見等をいただきましたので、その概要等についてお知らせします。

1 教育活動について

日々の教育活動の実施について、多くの温かいお言葉をいただき、職員一同、大きな励みになりました。ご理解、ご支援をいただいていることに感謝申し上げます。これからも、一つ一つの教育活動を大切に進めてまいります。

一方で、体育時の給水や水泳学習の見学の仕方、宿題の量、夏休みの作品募集の提出方法、子どもとの関わり方等についてご意見をいただきました。

2 教育環境について

相手を大切にする言葉を使うことについてご意見がありました。相手を傷つける言葉を使わないことについて、継続して指導していきます。

校舎内の環境については、上履きが汚れやすかったり、ゴミが落ちたりしていることについて意見をいただきました。先述のとおり、清掃活動について指導の充実に努めて参ります。さらに、施設については、プールの日よけ、ネッククーラーリングを冷凍保管できる設備、運動場のＴ字のペグが浮いていること、さらには、端末の取り扱いや使用制限、登下校の時刻や安全な引き渡し等、ご意見をいただきました。

3 「開かれた学校」について

授業参観日や行事の設定や、その際の駐車場の利用に関するご意見がありました。この件については、次年度より検討します。

4 「五つのしおり」について

あいさつについては、「挨拶すると気持ちよく挨拶を返してくれる」、という一方で、「ほとんどできていないと感じる」というご意見がありました。全体の考察と同様、改めて指導して参りますので、ご家庭でも、声かけをお願いいたします。

5 その他

教材費の現金以外の支払いの方法、体操服のゼッケン廃止、自転車の乗り方、ヘルメットの着用についてのご意見がありました。

すぐに対応できるものや確認が必要なもの、また、次年度に向けて検討するもの等、様々なご意見を賜りました。本当にありがとうございました。内容によっては、学校だけでなく、保護者・地域の皆様のご協力やご支援をいただくものもあるかと思えます。引き続き、お力添えの程、よろしくお願いします。